須磨

世中てゝ[illegible]たなゝ
てゝ[illegible]ゝてせゝてゝ[illegible]
ゆよゝゝとてゝ[illegible]
さゝ[illegible]ゝゝゝ[illegible]
うゝゝゝゝ[illegible]
ゝゝゝゝ[illegible]
里ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝゝゝゝ[illegible]
人ゝゝゝゝ[illegible]
ゝゝゝゝ[illegible]
ゝゝゝゝ[illegible]

おうるをきをてんをくこおほ
ひてるのよりつ付ゆまきてうし
りしをふりいけをはるよりの
きゆてさ西くちるもしうき和て
過いてはるよりも今ていとん
てれまをんてをおほ出たい
こまてうだておかうる仲にし
姫ん氏明うしよりて過いる
はきこつうさもれ公てうう
気りをるゆめうわてもあ又
いうんてひるのまとおはさも

ゆてもよりこ二日三百氏はを
よそくにあてうすれた
うおほつかれよ和ゆ
を公かうつかる過いをゆ
くうせうれかうきてわるみ
ちゆしあうすゆをうれよ
をたうを和うんをさうれ
せよやうるに伯へよううに
りやてうくおほしはてを
ゆいゆりつうたやう和
しよりかりしあをてうさ伯かり

そうん法はうの
まうもうの人々のよか
りをかけうの作法さはかて
くゝ行ゐるゝんをてゝにさかく
りのよをゝ中く物ゝのはまと
りのえきをゝ飛ゝてはゝかまと
ゝ女ゝをゝかゝんみゝりゝ
をゝくりゝかゝのゝをゝとゝのゝをゝを
ゝゝもゝてゝうゝゝゝけゝはゝ伊
うゝをゝのゝ花ゝ義ゝ星ゝふゝゝ
かゝふゝをゝうゝてゝ西ゝはゝ

りをあゝまゝけゝふゝ新ゝ井ゝをゝさゝはゝを
ゝ井ゝけゝよゝかゝうゝてゝもゝ井ゝ西ゝへゝ
ゝゝうゝ不ゝ可ゝ可ゝをゝなゝりゝさゝ
まゝてゝこゝをゝをゝわゝちゝを行ゝさゝわゝに
てゝもゝかゝけゝうゝよゝゝんゝちゝまゝけゝりゝを
よゝく、をゝ西ゝ一ゝ不ゝく人ゝ名ゝ山ゝ
をゝをゝ花ゝ行ゝ人ゝをゝ山ゝ入ゝ道
ゝ方ゝよゝをゝ和ゝ井ゝ西ゝはゝわゝをゝ入ゝ道
ゝゝわゝかゝをゝんゝ和ゝ井ゝやゝゝ伊ゝう
ゝゝけゝをゝと之ゝのゝいゝけゝをゝゝ
ゝ井ゝけゝよゝあゝをゝもゝうゝかゝ角ゝに

あいおぼしたるもあれど世はい
まいとかくらいおぼしたるも
さうくしきものとのこれるもへうも
けるかたの御物語にはべるに
先しの三月ばかりのころほひ
まかんあるべきいまさかな
ものとそしきたるせいとたくい
とちうにはうまはまとの物
かうきもと七八人ばかりわけまして
てつかまつりたるにてもちいたる人
きかくよりのみたるもまいた
ひしかあまたまたたるかたも
はるいおつるかたあるへう
利しかるべきおもとの公所の御
事ちくしこのくにたりとす
ぬよけ年三三百ばかりはてのよかく
まそなりの間よりわかるも
あむしの車はらやはまるる
ふそ女車のまりかくろへ伊
はとてあいかはよ着しるを
ひとりはいかに伊はさいまにて
あまりてるのつりて力もたの御あ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

くゝ侍らんを
ものこゝろもとなくたゞ
にのみまあさたるよゝ世をもて
あつかひおぼへらるゝかてこ
まやうに仕まつりけるを
ゆゝしの御をも
しるべくもあらぬそのい
てゝちをのしの神とえぼきて
かうなるあはれとえなるはく
をりてちをすゝりたるか
ゝ世をきてこれ

かまてよちをしかのしをうつと
ゝはつるをしをはるをしをよに
思ひおぼへをこゝらをくつゝ今ゝ
うるしん侍をしかまよをんを
し侍よちをもしうゝはをにお
しいちをしき侍をまりくれた
をこうてゝをれ義をををすわに
もををを思ひおるをををををを侍
おををををををををををををを
をあるをなるををくをよい
侍をしかをををををををををを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]馬車[illegible]
[illegible]世[illegible]きれちわきもと
おなじ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

さてはかの世よりゆきてかの
ゆ月をみるとは岩はしの中にしむの
ゑらんまはんと今ゝ命
はてにいきてはかへるかとはやと
まかりこゝにとゞまりて人をのぼりて
月日は新たとやとゝの
小方なるまふてもてはをお
もんかとしやもちなはとて
ゐるんにそかりはてもあめ
ゆきはふるまてはやりの人を
すゝまいりきてゝかをゝをゝ

ゝかりきたりて
ゆもはをんれと
ゆんはゝ世のゝ三位中将
ゝのゝまゝ法師ゝ家三位中将
かゝおりゝわゝ
ゝゝはなれゝはゝ
ゝゝはゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ
きゝてゝゝゝゝ
てゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ

我なりてはてのきちうを
をこそこそあることおとろへつはもし
これはの屋よりやの屋せて侍あて
出羽ゝ屋ゝ屋ゝの名(八ゝ屋)
屋ゝ屋ゝいとめうもてをこせ
行つゝ屋ゝ屋ゝいうの
ものうてさすゝあるもたゝのわ
行ゝゝみのうけいてゝゝるもてと
出し行ゝ屋ゝ
到て屋ゝ
かゝみとゝゝゝゝゝさゝてもし

寺かゝれよゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
所ゝ行ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
中ゝよたゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝこゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

いまうはこ一ゑもおい花ハ散清
水くかとまへ行てくもりよりさ花
見るたくさんよりこハ花ハ行西の
きりくもんをうつ伊とゝみ
たくさんをうきゝ清をうて流
ゆよかくさりてすくいおつる事
月ゝとあまさまろんかい
風ゝりてとうらいてかとうれと
月おかりつよりしゝ出て池いろく
山こゝろきとゝわるほそはを
いちにすくこゝ紅をうんえなり

中おは一風ゝ紅ゝやうてハかり
しをもとゝ不行ゝやこうらく
行ゝておは一きゝよ紅ゝへ落
月行ゝ紅ゝ紅ゝうゝ志めやう
紅ゝよりうゝ山ゝまいおつる海
ひゝる地をゝて思ハやうゝ入
行へきとこうゝねさわ出てやそ
月をみて行ゝ行きゝまくに清花
ゝうゝ行ゝまゝ行ゝうゝかゝ
おもゝ尺一の花のはやかゝう
紅ゝ月ハ紅ゝ入ハえゝやと

[illegible]

[illegible]

[illegible]

きうんしもとめとうせはけし
ゑたてらいまこそはゆかかもとみえも
いてはつるとのはしやまのはるみうの
りとえはつはいとわけいはつふ
ねとてとさてとんちうしもれくてれ
ゑゆゆみはうくきゑみとも文集ゑ
入うとてとさてはい琴いしれりせ
はとこうせきゆてうとんゆやの
れうはうしかくうにくはて
すあやしはしうんめきてもこゆ
かうさうはんくわしゆよ

たはけはゆゆみかれゆうたこ
えうてはうとやしはん庄ゆ
きとやりはてさうゑ地きこころ
ゆとあはうの美れとみから西
利をきはうれかのはんえう
ちうあさめうこのれてふてまて
ゆ仙ゑとんうくしとうよん
ときはゆまてきうき家同と
ゆくてきうしゆきゆまと
しれはうあはうはうはれうは
ゑゆゆはくはうはれはゆはき

[illegible]

[illegible]

[illegible]

神ぞしるらんまもるをもてなせるこ
ゝろのうちにたれもたれもあや
かりて住の世をとしをへすまし
あるもくるしうしかりきかつて
こゝろおもしけるもまよてこゝ
ろをいたしたんのてやうをはなれ
おもしけもとたれかしりえてうた
をたはしかとゆるわかりてはな
ゆきをはしかしかるてこのか
うかもかしかるとしわぬ事
をそれ董所をうけたをとゝ

あるてさはるとおもひ山まてて
はあうのきをはてて月出るをまれた
さ人入道家にまてはらんかす
はまつをおもしかしかるかみつ
ゝうかをさせかを宮殿をと
こゝうしかをはをかりはをと
はをみををもつまをとの四和
和なるの和をこわをんの
かつうをかをてこれ京人
はむしをかをこゝをわし
はをとこゝをとめをこをせまは

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]ことかと思へば神よ
[illegible]ふ
[illegible]今ハ[illegible]ふ[illegible]ん
[illegible]ますにて[illegible]
[illegible]ひき人[illegible]
[illegible]
[illegible]山にまして[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
てなかりしあるかうへにはまわれて
きそてはあ隨すりおり新[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

やうなる海をよけんとてこうし
かうんとおりてやうやうにはさま
きんかて内蒲にもちいてゆく
大風のつよくふきにけれども
つくるのけしきをのりてはえ
てんをあをきてくるくるとまハ
うゝゆめさうをもはしをゆく
ゆくゆくハ中くにあんらんまと
ゝ社あるやはうんはるやさしく
かりとうなりはなりてよをして
きわの社伊勢の方へゆけハ

ゑもちしかなしよりとりもとゝ
ゑつ孫さしまるをあさゝあまと
をゝきをおるをもしまなれをあてはの
いたてはしをゝ雪をてになるまめう
ゝうてうをもはうくみをもとを郎
うはをとはをいをへてれはゆはゆ
をとうけはをるをもはあ武蔵
いゝをあしまわをゝ二月廿九
をゝうしをはをはをゝ
ゆしはをゝはゆきあ
ゝゝをゝをゝゆゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゐてとらんとのみうちたのん
出ようちまつせばさぞうちう
ちてうかうせんとうかうせば
とみしいつまうてんおはうが
ぶうちてかうしもおもあつい
の月かてよろぶ人の引きこそて
ゐうしまれつよ申てさお
ふ人ばうん行まもこうも
引ふうちてうれてのおなせて
ばの月の行せ一ぶをた
えばうふうかんとそ

のうちせばうえ物ん一ぶ
す世中こそにつもてもばう
きれなれやうあれはあいとう
ー久をくせよばうんもかん
ばうとみやうあさもかんれんよ
いうおはさあきうちはに別に
おうしいおとさまもしこそ移しけ
もつもるうちにうきあれ
人ばいとたまんてあつれ
ばさあおてれをさてにあ進
とおはーうそのおなうふ

もてりつくこゝ迄也小さき
ものやうなれはよかるへき
す今もてみるに
ほくしはまこと玉を隠れ
のおくせしほうに近くらあ
てをもいてくあるうう
かゝ世をかなしかるまはこと
れしかの人はあるはわまはの
まきあなかなかてをおて
とおはしうゆもはわすは
うりあをつくをかしは秋は

海はうとうとはまはしのの
中のかの世まはあるとて
きんうはかるかくはうたち
のくはしてはかくかたちは
かくはかのの秋をわけはまは
つをかをくれかてらやすを
うはいはしをはをかはて
松をとくをはてはをはを
はかはかはかくはくはくは
はしてはかはかはくはは
さくうはをはをわはは

琴をひこうかきかうしおくるの
秋なれどすこうたしもれいい
きかしおおす

恋徒てのくれよりふかう陸ハ
ひりふるとわれやもしとうい
ひつるよくくれをつふてそそし
うこおをはつるよこのくしてい
のかきこねひてこれをきいやの
ふうこうすけよりのんわう
まいひくよりわやいうう
う河さうこれまうくほに

ひもひくはつてんかを別てかく
さしくあるうこれほをにみ
しそてすかくはこ河むさ
ほをとをほそーとおりふんれの
ていふかちふくしたるわれこ
とうのわいはひくひいはて
りうきに絶くはきはつきはて
ちくいをしおいをはしはしは地
さはりかのあやうにはほく
はちをとをきすきいおへる扉
ひのおりうをしれてそそたく

[illegible]

小さく成きこゝろ
うらいの吉凶
こゝ迄ゆうよもちこたれ
かつてこゝ屋もなほか
なるゝ世ゝ祖て事ゝ
者にはうつるあ
こゝろをきいてつ
世ゝをにたつ
ゆうしゝ人くたゝ
つゝしもゝ
ゝゝ迄定ゝ人はゆかや

多人元ゝ新ものゝ
ゝつきたしきゝ
ゝはれゝてゝ
ゝのゝ
大情

ゝゝこゝ
ゝゝゝ
右近ゝ

ゝゝ
はゝ
ゝゝ

おもひいもちにたるれてそてをしぼ
さそれてまつまもるかたをさ
うしろはいそくとめしかたを
うたりてかうまはしをほふ
しりをとく月はてをれをにさ
志をうをとうしをすををわけ
例をおほ生をて風をはあり
恋をしををろくからあはん
うしをおもいをはをまをも
月のうをのうをりをしを二百里外
古人をををんしをはつをまいの

あををををめををしをを入道宮
つををををやをををはをををの
秋ををんをををををを走をを杉をを
ふをを思をををよををををかをを
みをれををしを秋をををををを入
ををををを

みを秋れを志ををををををの
月の秋ををををををををををを
秋をを月ををををををををを
秋ををわれををを仲をを西の
院をををををををををををを

恋しうおもひいてきてしかて
思歸の御ふみ今こそこのことを寸
しは入給あれ御てに方
そ行すすうにをとこ
うとはいとはいとはかはしゆて
いかたのもめをかを神のかを民
大武のうちもをなつかをうを海
いろしもをんをうかて所せを
けををわ方ををにてのほか
御門をは遣通にをにかの
よりもをかりの海きをわかれ
分御ふふ大ふてみををと
きけこの御ををとををうを
ををんをもをは毎ををををの
うをけをうをををををををを
のををけををけきをををを
ちの御をを琴を忘れをを
をはををををををの
人をのをををを言をををを
ををけをめを分ををかををみを
ををををを御門をををを
をわをををををををををを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

かゝるこゝもちにてしつまりうせし
上達部なども
なほしかるべきことにあらねど
をこがましかりしかたちなれど
世中のものゝそしりをはゞかりて
いつかきこうめしてみたるの
ほどもなくやがてうせにしを人
もよもとてかうまをしたるを
なほ心ゆきがたくて世中をそ
ちをうらみたるを馬とい
きん人氏なるをよりはいとう
するなりけりとてもとゆめけ
ものしてこゝろうしてせうれこ
ものしに二条殿の姫君
なりしかはまことにおもむきを
えんうの氏なるをさいとい人く
をとこ人をそゆるしてめ
かとうの世のんとはいかに
みてもはかりかたなく
うう本うもまをさ
やうの氏なるをとおりいやと

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

みたてまつるにはよかるべき程
なるべきものにはあらねど
源氏のいとかなしくおぼしたる
事一つにてとどまりぬべきにけり
しかるべきにこそあめれ
えあるべきにあらねばやはいとかく
付けてふこのきみよたちまち
とつぎてあるべかるべき人
かうるきけるやうにやはとも
もてなしたまふこともあるまじ
きいくみたちの御めとさへなるま
ちまでかくもさいなまれる人を
よりのようくたるべき山うちを
そこもあるべきやうにもあらで
えたちもしあらしおとしめられも
さるべきものにもあらでいとまた
おのれまでもとなをやわたしてこそ
かくあるべきものにもあらざりけ
はくいかにかくばかり
ものをもとめたるはなに
あるわたしおとしめられたる人を
しもはいかにもんさてとなとめ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

まうす所ゝ
ゝたき式ゝ
て念誦のゝ
ゝとしたゝ
ゝゝけたゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

かのうれをめてしたやうの
ひとつもちにいてきてほゐのはまを
ちんうしをたのしてたつ人をたんて
きしのつくなさはしに人の
たしのりて海をもとりうて出船
つをもつてうまを軽達をわをいき
先くしてはいとわかしい京の
住陽師やしてしてせさ行ひみ
にたくしくしく人のせてから
すもんはんしてしてしてして
たまやしてしてしてしてして
大海のにはるはまて

ハしてしてあるたてたてはの船人
新はさ西のうたはよってつ
ひしたしはうみゆりてうくと
なきうてしてはしたてあよ
うかれさたはをしれ
やとうのはしたはりたし
を安うはんをまたはれたのの
りふたにはしまは出て元をう
きうれ海をうへしたそて次うさ
そたうをしを南をうはわた
てあんたしはまたみれうをれ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

次ぎてこれをもて時をみからやす
ふるまひをしてうゐ子を育
まもりそだてるあ金て
れしみやうをもて生ぬ
ゐてあるてやうわあるとくみ
にをるてくさ分うんの和のもか
詩をもて伊ぎうしもてをるも
のをてんをまてるわけをとお
ほをにてしのむつうらひすま
ぬ月へうてみ月ゆしれるを